

2005年 全修協 第2回水俣環境学習セミナー

実施の概要

1. 目的

修学旅行を通して児童生徒の環境保全に対する思考力・判断力・実践力を育成するために、現地の教職員と交流を図りながら、環境教育に関する指導内容・指導方法に関する研修会を実施する。

2. 主催 財団法人 全国修学旅行研究協会

3. 後援 熊本県、熊本県観光連盟、水俣市、観光物産協会エコみなまた 関東地区公立中学校修学旅行委員会

4. 協力 全日本空輸（株）、NPO 法人水俣教育旅行プランニング、近畿日本ツーリスト（株）

5. 実施期日 平成17年8月18日（木）～20日（土） 3日間

6. 参加人数 8名（埼玉県・千葉県公立中学校先生、全修協）

7. 実施箇所 水俣市：もやい館、熊本県環境センター 他

8. 講師 丸山定巳氏（久留米工業大学教授、前熊本大学教授） 田中 睦氏（水俣第1小学校教諭、水俣葦北公害研究サークル代表） 吉永利夫氏（NPO 法人水俣教育旅行プランニング専務理事） 吉井正澄氏（前水俣市市長）

9. 訪問見学箇所

水俣市：水俣市役所、水俣病資料館、熊本県環境センター、水俣湾埋立地エコパーク、
ほっとはうす、エコタウン、リグラスロード、久木野地区、
芦北町：葦北漁港
東陽村：石匠館
山都町：通潤橋、清和文楽邑

セミナーの概要

8月18日（木）気温34℃。羽田空港からの飛行機が30分遅れで鹿児島空港に到着。湯の児温泉山海館の松永康生（観光物産協会エコみなまた・副会長）氏に出迎えていただき、昼食場所の曾木の滝へ。東洋のナイアガラと言われる滝を見学後水俣市へ移動。

まず水俣市役所で江口水俣市長を表敬訪問。これから行なわれる2日間の水俣環境セミナーへのご協力に対し御礼を申しあげた。

その後市役所に隣接した「もやい館」へ移動、今回受入れ先である観光物産協会エコみなまた・エコ部会長の吉永利夫氏より趣旨説明があり環境学習セミナーがスタートした。

15:00：丸山教授から「水俣病問題の現在」と題して、水俣病事件発生から現在に至るまでの経過を年表を用いて分かりやすく説明いただいた。

1956年水俣病が公式に確認されて来年で50年となるがいまだ事件の全面解決には至っていない。

1995年村山内閣による「水俣病問題解決」について、最終解決案が決定したものの双方納得の行くものではなかった。加害者、被害者、行政、政治、企業、市民等々そこに住む多くの人々を巻き込んだ事件はいまだ解決してはいないとの説明を頂いた。

16:00からは、田中先生が「学校現場と水俣病」と題して、学校現場で直接児童・保護者としての患者に関した体験をもとにお話しいただいた。一番の問題点は差別にあり、偏見やいじめ等により就職出来なかったり、精神的ダメージを受けたり、出身地を隠したり、又同じ学級に加害者側と被害者側の子供が混在する葛藤であったりと。依然として水俣病に起因する差別や偏見が根強く残っていることを指摘されていた。

その後質疑応答に入り参加者より活発な熱のこもった質問が多数出て、環境という身近な問題だけに関心の高さを窺わせた。

宿舎へ入った後18:30より、江口水俣市長はじめ熊本県観光連盟、水俣市商工観光課、観光物産協会エコみなまた、NPO 法人水俣教育旅行プランニングの皆様に参加いただき第2回目の意見交換会を行なった。

江口水俣市長表敬訪問



もやい館で丸山教授、田中先生の講演



8月19日(金)8時30分に宿舎を出発。熊本県環境センターにおいて2日目のセミナーを開始。

吉永専務理事より「水俣における環境学習と修学旅行について」と題し、水俣病事件が一応の解決以来取り組んできた環境プログラムの作成と、校外学習・修学旅行誘致の取組みについて説明を受けた。

現在の水俣は環境モデル都市として、ゴミの21分別や企業・学校・家庭版ISOへの取組み等、水・食べ物・廃棄物にこだわり「環境と共生にこだわる町」を若い学生の皆さんに是非勉強してもらいたい。そして先生や生徒が地域に戻ってゴミ問題や身近な環境汚染について考えてもらうことが大事であるとの取組みを語られた。

次いで、吉井前市長は「もやい直しについて、水俣市の環境への取組み」として、市議時代から市長時代を通してその大半を水俣病対策に費やしてきた体験談は非常に興味深い内容だった。

企業の隠蔽、引き伸ばし、嘘、結果被害が拡大し、いまだに行政の責任は取られていない。また当時の行政の無為無策、役人の怠慢、エリート集団の組織に常識がなく良心もなかった。ゆえに50年経った今も解決に至っていない。「もやい直し」とは市民の意識改革であり患者と市民が理解しあうことである。

その後の水俣市再生へ向けた「もやい直し」はゴミの分別やリサイクル産業を発展させ、環境都市づくりの最先端を歩む市となり、多くの視察者も訪れるようになった経緯を語られた。

水俣教育旅行プランニング吉永専務理事の報告



吉井前水俣市長の講演



水俣湾埋立地にオープンしたエコパーク「味の駅・たけんこ」にて昼食後、午後はフィールドワークを実施した。水俣病資料館、水俣病情報センター見学後、有機水銀を含むヘドロを封じ込めた水俣湾埋立地、エコタウンの空き瓶リ・ユース工場、共同作業施設「ほっとはうす」、チッソ工場の排水口、等々の説明を受けた。

その後、水俣は面積の75%が山林地帯でもあり、山の良さも知るため水俣川上流の久木野地区へと向かう。棚田の織り成す景観、寒川水源の山から流れ落ちる水は冷たく大変美味であった。

水俣湾埋立地 親水公園



エコタウン空き瓶リ・ユース工場



8月20日(土)8時出発。松永副会長の案内で芦北港へ向かう。うたせ船による打瀬網漁を見学したかったが、あいにく船は出ておらず港で係留された船を見学した。

一時間位で肥後の石工の故郷東陽村に到着。石匠館で石橋の実物模型、めがね橋の建造方法のレクチャーを受けた。次の見学場所の通潤橋はどのように造られたか、分かりやすく説明していただいた。

九州各地に石橋が多いのは、そこに「肥後の石工」と呼ばれる石加工のプロ集団が居たからである。皇居の二重橋もこの匠集団の手により建てられたものであるとのこと。

約一時間で山都町に到着、石で巧みに組み立てられた通潤橋からの放水の様子は見ごたえがあった。昔は橋の上を通る石の水道管を掃除する為、年2回しか放水しなかったが、今は観光用に時々行なっているとのこと。

芦北のうたせ船



通潤橋と放水



最後の見学地、清和文楽邑の清和文楽館に向かう。江戸時代より伝わる清和文楽人形芝居では、新作「雪女」を鑑賞させてもらい、参加者は皆初めての人形芝居に感動していた。新作づくりは脚本から人形稽古を含め一年掛けて作り上げるとのこと。山奥の村にまだまだ途切れず伝統文化を残し、維持することの素晴らしさを痛感した。

文楽館隣の道の駅にて昼食後、全ての日程を消化し一路熊本空港へ向かい羽田への帰路についた。

今回の環境セミナーにおいて水俣市長始め観光物産協会エコみなまた、NPO法人水俣教育プランニング、水俣市、熊本県観光連盟、熊本県観光物産総室、湯の児温泉山海館、福田農場、清和文楽邑、等々ご協力いただいた多くの皆様に改めて御礼申し上げます。

(以上)

《今回のセミナーにご協力いただいた方々の連絡先》

- ・観光物産協会エコみなまた TEL: 0966-63-2079 URL: <http://www.eco-inamata.jp/>
- ・NPO法人水俣教育旅行プランニング TEL: 0966-68-9450 URL: <http://www.mkplan.org>
- ・水俣市商工観光課 TEL: 0966-61-1629 URL: <http://www.minamatacity.jp>
- ・熊本県観光連盟 TEL: 096-325-6360 URL: <http://www.kumakanren.com>
- ・熊本県観光物産総室 TEL: 096-381-8510 URL: <http://cyber.pref.kumamoto.jp>
- ・清和文楽館 TEL: 0967-82-3001
URL: <http://www.vill.seiwa.kumamoto.jp/seiwaobs/seiwamura/>

研修日程

日次	スケジュール（講師と主な講演内容）	
第1日 8月18日 (木)	09:30	羽田空港発（ANA621便）
	11:40	鹿児島空港着
	12:00	鹿児島空港発
	12:50	曾木の滝（昼食）
	14:00	水俣市役所 江口市長 表敬訪問
	14:20	「もやい館」着
	14:30	セミナー開始 久保理事挨拶 趣旨説明
	15:00～	講演：丸山定巳氏（久留米工業大学教授 前熊本大教授） 「水俣病事件の概要」
	15:50～	報告：田中睦氏（公害研究サークル・水俣第1小学校教諭） 「学校現場と水俣病」
17:00～	質疑	
18:00～	宿舎	
第2日 8月19日 (金)	08:30	宿舎出発
	08:50	「熊本県水俣環境センター会議室」
	09:00～	報告：吉永利夫氏（NPO法人 水俣教育旅行プランニング専務理事） 「水俣における環境学習と修学旅行について」
	10:00～	講演：吉井正澄氏（前水俣市長） 「もやい直しについて、水俣市の環境への取組」
	11:30	質疑
	12:30～	エコパーク「味の駅・たけんこ」（昼食）
	13:10～	フィールドワーク 水俣湾埋立地・水俣病資料館・水俣病情報センター 授産施設「ほっとはうす」・エコタウン（リサイクル工場）・湯堂漁港・ 相思社歴史考証館・久木野棚田
	18:00～	福田農場・・・見学後夕食
	第3日 8月20日 (土)	08:00
08:30～		芦北港 漁協によるうたせ船漁の説明 八代経由
09:40～		東陽村 石匠館 見学
11:00～		山都町（旧矢部町）通潤橋 見学
12:00～		山都町（旧清和村）清和文楽館 文楽「雪おんな」鑑賞 昼食 清和文楽邑
13:40		山都町発
15:00		熊本空港 着
16:00		熊本空港発（ANA646便）
17:35	羽田空港着 到着ロビーにて解散式	